

広島市公文書館 事業概要

令和元年度版

広島市公文書館

目 次

I 概 要

1	公文書館の歩み	1
2	組織及び事務分掌	1
3	施設の概要	2
4	決算	2
5	公文書館運営委員会	2
6	啓発・普及	2
7	条例・規則等	3
8	主要年表	3

II 利用状況

1	公文書等の利用	5
2	広島市刊行物の販売	6

III 収蔵資料の概要

1	収蔵資料数	7
2	主要な収蔵資料	7
3	デジタルアーカイブ・システム	8

IV 歴史資料の収集・整理・保存

1	歴史資料の種類	9
2	歴史資料の整理	9
3	寄贈の受入れ	9
4	マイクロフィルム	9
5	歴史資料目録の作成状況	10

V 行政資料等の収集・管理

1	本市行政資料	11
2	図書等（他都市の行政資料等）	11

VI 展示・イベント

- 1 令和元年度の展示会開催状況 11
- 2 令和元年度のイベントの実施状況 11

VII 公文書館「紀要」の刊行 12

VIII 市史の編さん

- 1 市史編さん事業の概要 13

IX 文書の引継ぎ・保存・廃棄

- 1 文書の引継ぎ 14
- 2 文書の整理・保存 14
- 3 歴史資料文書の選別・文書の廃棄 14
- 4 マイクロフィルムによる保存 15

X 情報公開制度・個人情報保護制度

- 1 情報公開制度 16
- 2 個人情報保護制度 16
- 3 情報公開・個人情報保護審査会 16

XI 令和元年度の主なできごと 18

I 概 要

1 公文書館の歩み

広島市は、昭和 20 年 8 月 6 日の原子爆弾被爆によって、公文書をはじめ多くの歴史資料を焼失した。

一方で、政令指定都市移行に向けて、昭和 46 年から昭和 50 年にかけて周辺 13 か町村との広域合併を進めたが、これらの町村役場には、焼失した旧広島市域の歴史をうかがわせる近世以来、とりわけ明治以降の町村制期の貴重な公文書が多数保管されていた。

歴史資料の散逸・焼失は、こうした大きな行政機構の変動の際に特に起こりやすいことから、それを防ぎ、さらに、合併 9 か町の町史（誌）及び当時既に着手していた戦後史「広島新史」の編さん過程で収集した資料を体系的に整理・保存し、恒常的な活用を図る体制を整える必要があった。

そこで、広島市公文書館条例（昭和 52 年 3 月 31 日公布）により、昭和 52 年 4 月 1 日、公の施設として広島市公文書館を設置した。当時、公文書館の名を冠する施設を有していたのは国、東京都のみであり、文書館その他の類似施設も全国的にみても多くはなかった。

開館当初は資料を収蔵する書庫もなかったが、翌昭和 53 年 3 月市立中央図書館の地下書庫を借用・改修して書庫・作業室兼閲覧室を設けた。その後、市史編さん室と一体的な組織として、収集した史資料類の保存・活用を図るための専門施設として業務の充実に努めてきた。

開設以来 10 年目を迎えた昭和 61 年 1 月、市役所西庁舎に移転し、同年 4 月には市史編さん室の廃止に伴いその業務を引き継いだ。また、組織も 2 係制とし、6 月には、公文書公開制度の統一窓口としての役割を開始し、現在に至っている。（p3 I の 8 「主要年表」参照）。

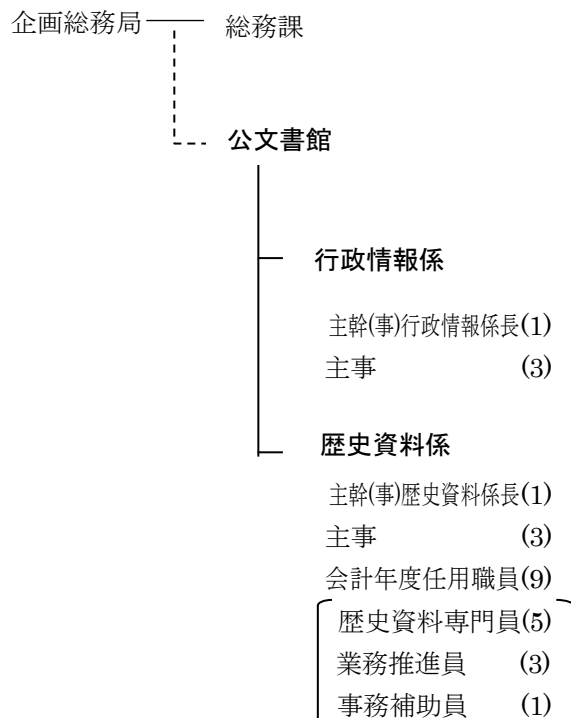
さらに、平成 8 年 4 月から市長の資産等の公開窓口や同年 10 月から個人情報保護条例に基づく個人情報の開示・訂正請求の窓口としての役割も果たしてきた。平成 13 年度からは公文書公開制度を情報公開制度に改め、より一層の情報公開に努めている。

平成 16 年 6 月、市街地再開発事業により建設された大手町平和ビルに、事務室・閲覧室・資料室（書庫）等を備えた新館が完成し、同年 7 月に移転、分散して保管していた資料の大部分を館内で集中して管理し提供できる体制が整った。

2 組織及び事務分掌

(1) 組織（企画総務局の出先機関）

（令和 2 年 4 月 1 日現在）



(2) 事務分掌

行政情報係

- ① 情報公開制度及び個人情報保護制度の総括
- ② 市長の資産等の公開に関する事務
- ③ 館の庶務（予算・決算・人事・給与等）

歴史資料係

- ① 歴史資料の収集・整理・保存・利用相談・調査・研究・普及
- ② 行政資料等の収集・管理・利用
- ③ 市刊行物の販売
- ④ 保存文書の引継ぎ・保存・廃棄
- ⑤ マイクロフィルムの管理
- ⑥ 市史の編さん
- ⑦ 館の庶務（物品の購入・管理）

3 施設の概要

(令和2年4月1日現在)

(1) 所在地

〒730-0051
広島市中区大手町四丁目1番1号
大手町平和ビル6階～8階

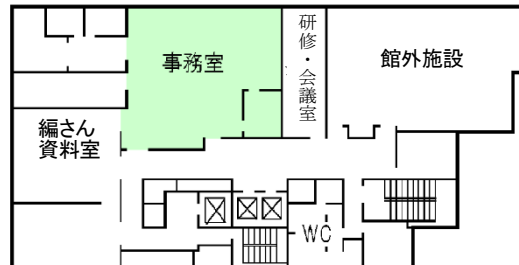
(2) 面積

全体面積 2,524 m²
(北庁舎地下書庫 302 m²を含む)

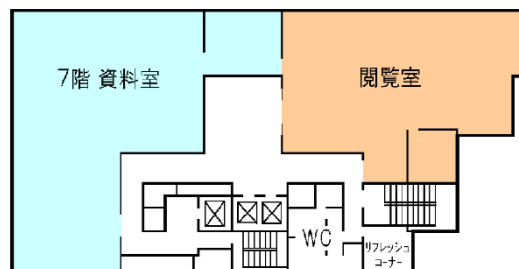
【部門別内訳】

管理部門 285 m² (事務室 163 m²)
利用部門 378 m²
(閲覧室 268 m²)
(開示室 15 m²)
(研修・会議室 43 m²)
(展示ロビー 52 m²)
作業部門 139 m²
保存部門 1,321 m²
(6階資料室 618 m²)
(7階資料室他 345 m²)
(フィルム保管室 56 m²)
(北庁舎地下書庫 302 m²)
その他 401 m²

8階



7階



6階



4 決算

令和元年度の事業別の決算状況は、次表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	決算額
物 件 費	39,522
公文書館管理運営	35,325
情報公開制度・個人情報保護制度の運用	346
保存文書の管理事務	3,456
公文書館紀要の編修発行	395
人 件 費	84,700
合 計	124,222

5 公文書館運営委員会

広島市附属機関設置条例に基づき、公文書館の運営に関する重要な事項を調査・審議するため、広島市公文書館運営委員会を設けている。運営委員会は委員6人をもって組織し、任期は3年で現委員は令和3年12月9日までの任期となっている。

《公文書館運営委員会委員名簿》

(令和2年4月1日現在 50音順)

氏 名	役 職 名
安藤 福平	元広島県立文書館副館長
宇吹 暁	元広島女学院大学教授
勝部 真人	広島大学名誉教授
杉本 俊多	広島大学名誉教授
曾根 幹子	広島市立大学名誉教授
西本 雅実	中国新聞社特別編集委員

《令和元年度開催概要》

令和2年3月9日開催

議事1 公文書館の運営状況について

議事2 令和2年度予算案及び事業計画について

6 啓発・普及

(1) パンフレット (カウンターでの配布)

(2) 市政出前講座

市民の求めに応じ、地域に出向いて、情報公開制度・個人情報保護制度及び広島市の歴史を説明している。(平成31年度実績なし)

(3) 職員研修

各区等の担当者の研修会等において、情報公開制度・個人情報保護制度の概要について研修を行うほか、研修センター等の求めに応じ、情報公開・個人情報保護や広島市の歴史及び戦後復興などの研修

講師としても職員を派遣している。

(令和元年度 9 回)

職員研修実績

《広島市の歴史関係研修》

実施月	研 修 名
4 月	新規採用職員研修

《個人情報保護研修》

実施月	研 修 名
4 月	新規採用職員研修
4 月	市民課事務研修
6 月	実務講座（文書・情報管理事務）
6 月	新任課長補佐級職員研修
6 月	中堅職員研修
8 月	火災調査課程研修
9 月	広島市都市整備公社個人情報保護研修
1 月	広島市男女共同参画センター職員研修

※情報公開制度の解説も同時に実施。

7 条例・規則等

公文書館の管理運営に係る主要な規程は次のとおりである。

- 公文書館法
 - ・ 広島市公文書館条例
 - ・ 広島市公文書館条例施行規則
- 広島市附属機関設置条例
 - ・ 広島市公文書館運営委員会規則
- 広島市情報公開条例
 - ・ 広島市情報公開条例施行規則
- 広島市個人情報保護条例
 - ・ 広島市個人情報保護条例施行規則
- 広島市情報公開・個人情報保護審査会条例
- 政治倫理の確立のための広島市長の資産等の公開に関する条例
 - ・ 政治倫理の確立のための広島市長の資産等の公開に関する条例施行規則
 - ・ 政治倫理の確立のための広島市長の資産等の公開に関する実施要領
- 広島市文書取扱規程
- 広島市行政資料管理規程
- 広島市公文書館管理運営要綱
- 広島市公文書館条例に基づく公文書等の利用申請に対する処分に係る審査基準

8 主要年表

昭和

- 46.7 【国立公文書館開館】
 - 49.4 総務局総務課内に市史編さん担当主幹配置
 - 50.7 総務局に市史編さん室を設置
広島市史編修委員会を設置（附属機関設置条例の改正）
「広島新史」編さん事業に着手
 - 51.9 合併町史の刊行開始（「可部町史」）
今堀誠二氏（広島市史編修委員会専門部会代表）が市長に対し「広島市公文書館設立要望書」を提出
 - 52.4 広島市公文書館を設置
広島市公文書館運営委員会を設置
 - 53.3 広島市公文書館「紀要」第 1 号を刊行
広島市公文書館運営委員会第 1 回会議を開催
 - 54.3 所蔵資料目録第 1 号「戸坂村役場文書目録」を刊行
 - 55.9 第 1 回特別展「ひろしま今昔」を開催
 - 56.4 「広島新史」の刊行開始（資料編 I）
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）に加入
 - 58.4 新文書管理システムの開始
 - 58.9 事務改善委員会「行政資料センター（仮称）基本構想〔暫定施設分〕」を策定（公文書公開制度の開始に併せた西庁舎における情報の総合的・多機能施設の整備構想）
 - 59.7 行政資料登録制度の開始（行政管理課所管）
 - 61.1 西庁舎に移転
 - 61.3 公文書公開条例公布
「広島新史」編さん事業終了
市史編さん室廃止
 - 61.3 組織改正により 2 係制となり、行政管理課から保存文書の引継ぎ・保存・廃棄事務・行政資料の管理事務移管（行政資料室規程を行政資料管理規程に題名改正）
廃止された市史編さん室の業務を移管
 - 61.6 公文書公開制度を開始
広島市公文書公開審査会を設置
 - 62.3 「公文書館だより」第 1 号を発行
 - 62.7 広島市公文書公開審査会第 1 回会議を開催
 - 62.12 【公文書館法公布（63 年 6 月施行）】
- 平成
- 元.4 「図説広島市史」を刊行
 - 3.2 「戸坂村史」「中山村史」を刊行
 - 4.2 「井口村史」を刊行

- 4.4 被爆 50 年記念史編さん事業開始
- 5.4 個人情報保護制度を要綱で開始
- 8.3 個人情報保護条例公布（4 月一部施行、10 月全部施行）
「被爆 50 周年 図説戦後広島市史 街と暮らしの 50 年」刊行
- 11.5 【行政機関の保有する情報の公開に関する法律公布（13 年 4 月施行）】
- 11.6 【国立公文書館法公布（12 年 10 月施行）】
- 13.3 公文書公開条例を全部改正し、情報公開条例を公布（4 月施行）
- 13.7 「被爆 50 周年 図説戦後広島市史 街と暮らしの 50 年」再版
- 13.11 広島県市町村公文書等保存活用連絡協議会（広文協）発足・加入
- 14.2 市街地再開発事業による西庁舎取り壊しに伴い仮移転
- 15.5 【個人情報の保護に関する法律等関連 5 法の公布（一部施行。完全施行は平成 17 年 4 月 1 日）】
- 16.3 個人情報保護条例を全部改正、公布（4 月一部施行、6 月全部施行）
- 16.7 大手町平和ビルの竣工に伴い移転
- 17.6 被爆 60 周年記念事業「描かれたHIROSHIMA 展」開催
- 19.9 公文書館開館 30 年特別展「ひろしま・歴史への誘い」開催
情報公開条例を一部改正（開示請求者の範囲の拡充）
- 20.4 行政情報検索業務システム本格稼動
- 21.7 【公文書等の管理に関する法律公布（23 年 4 月施行）】
- 21.8 市制施行 120 周年展「ひろしま・人と街の物語」開催
- 24.6 「紀要」第 25 号を発行（発行再開）
- 24.7 電子決裁等の文書管理システムの開始
- 26.1 画像データや目録情報を web で公開するデジタルアーカイブ・システムを導入
- 26.4 被爆 70 周年記念事業として「被爆 70 年史」の編さんに着手
情報公開条例及び個人情報保護条例を一部改正
情報公開・個人情報保護審査会条例を施行（広島市情報公開・個人情報保護審査会を設置）
- 27.9 個人情報保護条例及び個人情報保護条例施行規則を一部改正（10 月施行）
- 28.3 情報公開条例、個人情報保護条例及び公文書館条例一部改正（4 月施行）
- 30.3 行政情報検索業務システム運用終了
- 30.7 「広島市被爆 70 年史」を刊行
令和
元.7 「広島市被爆 70 年史」の索引を公開
- 2.2 広島市公文書館管理運営要綱制定
- 2.2 広島市公文書館条例に基づく公文書等の利用申請に対する処分に係る審査基準制定

Ⅱ 利用状況

1 公文書等の利用

公文書館では、広島市公文書館条例に基づき、公文書等を市民・職員の利用に供している。

(1) 利用形態

ア 閲覧・撮影

閲覧室において閲覧に供している（無料）。手持ちカメラ等での撮影も可。

イ 複写

申請を受け、複写機による複製、デジタルデータの電磁的記録への複写を行っている（有料）。

《参考：写しの交付手数料等》

白黒複写 10 円／1 枚

カラー複写 20 円／1 枚

CD-R 100 円／1 枚

DVD-R 130 円／1 枚

ウ デジタルデータの提供

写真・絵葉書・公文書等の画像データをメール等で交付している。データがないものについても、容易にデータ化できるものについては、データ化し、同様に提供している。

エ 利用相談（レファレンス）

資料検索等の利用相談を閲覧カウンターで行っている。メールや電話での相談にも応じている。

オ 展示会への資料貸出

公共団体等による学術の振興、文化の普及又は行政事務の適切な執行のために利用する場合に限って貸出しを行っている。

（令和元年度実績は 1 件 3 点）

(2) 開館時間及び休館日

ア 開館時間

午前 9 時～午後 5 時

イ 休館日

日曜日、土曜日、祝日

12 月 29 日～1 月 3 日

8 月 6 日

(3) 閲覧室入館者数（開館日数 239 日）

3,589 人

(4) 令和元年度利用状況

区 分	申請者数 (件)	利用件数 (点)	複写枚数 (枚)	データ提供 件数 (件)
市民利用 (含民間団体等)	517	2,159	7,972	421
職員利用 (含公益法人等)	154	592	502	143
合 計	671	2,751	8,474	564

市民利用（令和元年度）

年間利用件数		利用された特定公文書等の種類（点）								複写 枚数 (枚)	データ 提供件数 (件)
月	申請 者数	市公文 書等	寄贈 資料等	市行政 資料	その他 行政資料	図書	写真・絵 葉書等	地図・航 空写真	計		
4 月	36	10	1	36	3	9	62	12	133	382	28
5 月	44	34	26	72	0	11	6	15	164	650	4
6 月	40	2	14	29	0	27	84	3	159	418	62
7 月	58	4	15	26	3	12	129	6	195	290	50
8 月	56	14	24	44	0	10	55	11	158	1,038	28
9 月	57	17	33	103	0	26	35	3	217	463	27
10 月	40	16	78	35	1	7	50	0	187	774	10
11 月	42	34	6	33	1	1	207	11	293	1,369	76
12 月	41	45	28	24	2	3	114	0	216	1,716	38
1 月	38	21	28	23	1	10	13	4	100	457	25
2 月	34	16	78	22	2	11	58	33	220	279	64
3 月	31	15	68	11	1	11	10	1	117	136	9
計	517	228	399	458	14	138	823	99	2,159	7,972	421

職員利用内訳（令和元年度）

年間利用件数		利用された特定公文書等の種類（点）								複写 枚数 (枚)	データ 提供件数 (件)
月	申請 者数	市公文 書等	寄贈 資料等	市行政 資料	その他 行政資料	図書	写真・絵 葉書等	地図・航 空写真	計		
4月	12	8	5	27	0	0	0	0	40	183	0
5月	8	5	1	0	0	1	18	0	25	23	18
6月	16	3	1	5	11	7	22	0	49	44	10
7月	22	23	5	7	0	3	27	19	84	24	19
8月	12	8	2	3	1	2	7	0	23	39	5
9月	14	5	1	4	0	1	27	1	39	18	0
10月	18	29	14	2	0	3	33	0	81	66	34
11月	16	46	1	6	0	1	4	0	58	52	3
12月	12	34	0	3	1	1	71	1	111	0	2
1月	3	5	0	0	1	0	0	0	6	0	4
2月	14	20	0	9	0	1	14	4	48	45	29
3月	7	9	0	0	0	1	18	0	28	8	19
計	154	195	30	66	14	21	241	25	592	502	143

(5) レファレンス受付件数（令和元年度）

（単位：件）

区 分	件 数
利 用 案 内	154
所 蔵 照 会	248
調 査 相 談	101
合 計	503

2 広島市刊行物の販売

昭和 62 年度から本市の有償刊行物等の販売を行っている（平成元年度からは、区役所区政調整課〈中区を除く〉でも販売）。

令和元年度中に公文書館で取り扱った刊行物（公文書館発行の刊行物で区役所区政調整課等において取り扱ったものを含む）は 81 種類。うち、38 種類 1,489 冊を販売した。

Ⅲ 収蔵資料の概要

1 収蔵資料数

公文書館が引継ぎ・寄贈・寄託等で収蔵した資料のうち、整理が完了した資料は次表のとおりである（冊子目録、デジタルアーカイブ・システムへの登録が完了したもの）。

《令和元年度末収蔵資料点数》

（単位：点）

種 類	点数(点)
歴史資料文書	41,404
役場文書	41,347
その他の歴史資料文書	49
行政資料（本市行政資料）	30,663
図書資料（他都市行政資料等）	61,225
その他文書等資料	12,249
地図・地形図原図等	4,900
写真・絵葉書（寄託分を含む）	約 97,000

2 主要な収蔵資料

広島を伝える主要な収蔵資料は次のとおりである。

検索手段を【 】で補記した。

- 【冊】 寄贈者・形態別の資料の冊子目録
- 【受贈Ⅰ】、【受贈Ⅱ】 受贈資料目録Ⅰ・Ⅱ
- 【役場補遺Ⅰ】、【役場補遺Ⅱ】 役場文書目録補遺Ⅰ又はⅡ
- 【紀要○】 公文書館紀要掲載目録
- 【DB】 デジタルアーカイブ・システム

(1) 市民からの寄贈・寄託によるもの

- ・ **重家豊氏資料** 4,582 件【冊】
… 県内社会・労働運動関係資料
- ・ **山木茂氏資料** 2,393 件【冊】
… 社会・労働運動関係資料
- ・ **任都栗司氏資料** 195 件【冊】
… 原爆被爆者援護活動関係資料
- ・ **広島市復興青年運動資料** 234 件【冊】
… 原爆被爆後の復興期における青年運動関係資料
- ・ **都築正男氏資料** 645 件【紀要 5】
… 原爆投下直後の被爆者治療及び原子爆弾症に関する調査研究資料
- ・ **新藤兼人氏資料** 130 件【紀要 5】
… 自筆映画シナリオ、著書
- ・ **谷口盛行氏資料** 43 件【紀要 15】

- … 第 1 回国勢調査(大正 9 年)関係資料
- ・ **横山雅昭氏資料** 113 件【紀要 15】
… 江戸時代後期の沼田郡相田村に関する絵図及び但馬国出石郡伊豆村から相田村への病人の村継送り文書
- ・ **永濱家文書** 971 件【紀要 24】
… 幕末から明治にかけての広島藩、広島県の公文書ほか
- ・ **橋本秀夫氏資料** 92 件【紀要 24】
… 広島城、不動院の図面など、広島の歴史的建造物に関する資料
- ・ **渡邊彌蔵氏資料** 650 件【紀要 31】
… 明治から戦後に至る広島の音楽活動に関する資料
- ・ **矢吹憲道氏資料** 70 件【受贈Ⅰ・DB】
… 昭和初期の社会事業、原爆被爆後の救援活動、広島児童文化会館の創設関係資料
- ・ **寺光忠氏資料** 40 件【受贈Ⅰ・DB】
… 「広島平和記念都市建設法」の制定過程関係資料
- ・ **藤本千万太氏資料** 69 件【受贈Ⅰ・DB】
… 「広島平和記念都市建設法」の制定過程関係資料
- ・ **草津南町総代資料** 148 件【受贈Ⅰ・DB】
… 大正期から昭和 22 年までの同町の町内会・青年会等関係資料
- ・ **坂本忠之氏資料** 87 件【受贈Ⅰ・DB】
… 明治末期から昭和 23 年までの矢賀町内会関係資料
- ・ **山田隆夫氏資料** 87 件【受贈Ⅰ・DB】
… 戦時中の防空関係資料、昭和初期から 30 年代にかけての広島市の広報・税・国民健康保険関係資料など
- ・ **原田威夫氏資料** 55 件【受贈Ⅰ・DB】
… 明治から昭和初期までの旧安佐郡安村村会関係資料、沼田高等学校を運営していた学校組合関係資料など
- ・ **弓野正彦氏資料** 7 件【受贈Ⅰ・DB】
… 原爆投下後に入市した陸軍軍医少佐弓野勲氏の主に医学面での原爆被害に関する記録類
- ・ **前田良孝氏資料** 9 件【受贈Ⅱ・DB】
… 日中戦争関係写真(101 枚)、昭和初期の広島逓信局発行の書状、文書など
- ・ **下前一郎氏資料** 122 件【受贈Ⅱ・DB】
… 明治中期から昭和 20 年までの旧沼田郡

祇園村の町政関係資料など

- ・ **斗樹正氏資料** 216 件【受贈Ⅱ・DB】
… 戦中戦後の学校関係資料
- ・ **佐藤重夫氏資料** 63 件【受贈Ⅱ・DB】
… 原爆ドーム保存関係資料
- ・ **大儀正夫氏資料** 420 件【役場補遺Ⅰ】
… 主に土地・土木事業に関する旧安芸郡中山村役場文書
- ・ **中山地区社会福祉協議会資料** 321 件【役場補遺Ⅰ】
… 主に明治前期の地租改正に関する旧安芸郡中山村役場文書
- ・ **登 清氏資料** 492 件【役場補遺Ⅱ】
… 旧高宮郡岩上村の近世から明治初期にかけての文書など
- ・ **高野泉氏資料** 5,085 件【閲覧室ファイル】
… 戦後広島演劇活動に関する資料
- ・ **輝本親孝氏資料** 824 件【閲覧室ファイル】
… 戦後広島演劇活動に関する資料
- ・ **明田弘司氏寄託写真** 38,806 件【DB】
… 昭和 27 年から平成 18 年までに撮影された市内・県内等で撮影された写真。復興する街や人々の営みを記録。
- ・ **渡辺襄氏撮影写真** 816 件【DB】
… 昭和 11 年から 13 年までの市内の風景や家族、市民生活を撮影した写真
- ・ **飯田邦夫氏撮影写真** 186 件【DB】
… 昭和 20 年代後半を中心とする市内の風景・イベント等の記録写真

(2) その他歴史資料

- ① 戦前の広島市関係資料
 - ・ 行政ポスター、チラシ
 - ・ 市街地図
 - ・ 広島名所等の絵はがき
 - ・ 版画「広島名所」（明治 27 年）
 - ・ 福井芳郎画伯のスケッチ画
（「がんす横丁」の挿し絵ほか）
 - ・ 市街地撮影写真
- ② 戦後の広島市関係
 - ・ 戦後復興過程資料
 - ・ 政令指定都市移行時の公文書及び行政資料
 - ・ 市街地撮影写真・航空写真
 - ・ 小倉豊文著「絶後の記録」各国語版

3 デジタルアーカイブ・システム

公文書館収蔵資料の整理、迅速な検索及び市民への公開を行うため、平成 26 年 1 月、収蔵資料の目録情報と画像データを登録・管理する「広島市公文書館デジタルアーカイブ・システム」を導入した。平成 27 年 10 月から絵葉書・写真等の画像や目録情報のウェブ公開を行っている。

《デジタルアーカイブ・システム登録件数》

区 分	内 容	公開件数
公文書等	役場文書、歴史資料文書、市史編さん資料、個人寄贈文書等	88,460
刊行物等	市行政資料、他都市行政資料、図書、ポスター、チラシ等	86,496
地図・航空写真	地図、地形図、航空写真等	4,900
写真・絵葉書	写真・絵葉書	12,284
映像・音声	レコード、カセットテープ、映画フィルム等	3
計		192,143

（令和 2 年 3 月 31 日現在）

（単位：件）

《令和元年度登録件数》

- ・ 公文書 25,478 件
役場文書、平和記念都市建設法関係引継文書
被爆 70 年史編さん資料等
- ・ 刊行物等 1,300 件
市行政資料・図書等
- ・ 地図・航空写真 637 件
市街地図・地形図
- ・ 写真・絵葉書 2,979 件
広報課撮影写真、受贈資料目録収録写真等

IV 歴史資料の収集・整理・保存

市民の利用及び市史編さんの参考資料として、公文書館では、歴史的・文化的資料として保存価値を有する文書を歴史資料として収集・保存している。

1 歴史資料の種類

公文書館で保存している歴史資料を大まかに分類すると次のとおりである。

① 歴史資料文書

- ・近世から合併時までの役場文書
- ・永年保存文書のうち、歴史的文化的な価値のある文書
- ・市の保存年限を経過した文書のうち、歴史的文化的な価値のある文書
- ・市史編さん資料

② 市刊行物その他行政資料

③ 広島市の歴史に関する記録、図書、地図、絵はがき、写真、ポスター等

《資料の収集基準》

- (1) 市の組織及び機能並びに政策の検討過程、決定、実施及び実績に関する重要な情報が記録された公文書等
- (2) 市民の権利及び義務に関する重要な情報が記録された公文書等
- (3) 市民を取り巻く社会環境、自然環境等に関する重要な情報が記録された公文書等
- (4) 市の歴史、文化、学術、事件等に関する重要な情報が記録された公文書等

2 歴史資料の整理

(1) 役場文書（歴史資料文書）

合併町村が作成又は保存していた文書「役場文書」は、町村ごとに整理を行い、冊子目録を作成して利用に供している。

目録情報は、デジタルアーカイブ・システムに順次登録しており、令和元年度は、「温品・矢野・熊野跡村外役場文書目録」、「五日市町外役場文書目録」及び「砂谷・上水内・水内村役場文書目録」に収録されている 23,537 件の登録を行った。

(2) 各課引継資料（歴史資料文書）

歴史資料文書として引き継いだ文書等の資料は、課又は業務内容ごとに整理し、冊子目録やデジタルアーカイブ・システムにより目録情報を公開し、

利用に供している。

令和元年度は、平和記念都市建設法関係文書等 87 件の登録を行った。

(3) 市史編さん資料（歴史資料文書）

市史編さんに伴い収集した資料については、編さん事業完了後整理を行い、デジタルアーカイブ・システムに登録し、利用に供している。

令和元年度は、「広島市被爆 70 年史」編さん時に収集した資料を中心に、23 点の登録を行った。

※ 図書等はⅤの 2 の「図書等」の一部として登録し、利用に供している。

(4) 寄贈資料等

市民からの寄贈等により受け入れた歴史資料は、寄贈者や資料種別ごとに整理を行い、冊子目録を作成して利用に供している。

また、順次デジタルアーカイブ・システムに登録し、画像や目録情報を公開している。

令和元年度は、「受贈資料目録Ⅱ」収録資料等 1,830 件のデータの登録を行った。

3 寄贈の受入れ

令和元年度は、31 人（団体）から 3,407 件の資料の寄贈を受けた。

《主な資料》

- | | |
|----------------------|---------|
| ・山田節男市長市政・世界平和運動関係資料 | 822 件 |
| ・戸山村荒木家旧蔵地形・家計関係資料 | 561 件 |
| ・戦前写真ニュース関係資料 | 1,444 件 |

4 マイクロフィルム

歴史資料のうち、原本の汚損・棄損のおそれのあるものや現物を入手できないものは、マイクロフィルムにより保存し、利用に供している。

《マイクロフィルムで管理している主な歴史資料》

- ・芸備日日新聞（明治 27.9～大正 7.5）※
- ・中国新聞（明治 25.5～7、同 25.10、同 33.1～平成 15.10）※
- ・朝日新聞広島版（大正 4.10～平成 13.12）※
- ・官報（昭和 21.1～平成 11.12）
- ・県報等広島県の公報（明治 7～44）

※一部欠号あり

5 歴史資料目録の作成状況

(1) 役場文書目録

(単位：件)

目 録 名	刊行 年月	収録 件数
戸坂村役場文書目録 ※	S54.3	3,976
大林村役場文書目録 ※	S55.3	3,964
狩小川村役場文書目録 ※	S57.3	4,187
志屋・戸山・八木村外役場文書目録 ※	S58.3	2,333
瀬野村役場文書目録 ※	S59.3	4,391
日浦・船越村外役場文書目録 ※	S60.3	1,969
温品・矢野・熊野跡村外役場文書目録 ※	S61.3	6,453
五日市町外役場文書目録 ※	S62.3	1,834
役場文書目録補遺編〔Ⅰ〕	H3.3	1,939
役場文書目録補遺編 Ⅱ	H5.3	1,497
瀬野川町・熊野跡村役場文書目録	H10.3	1,197
安古市町・矢野町役場文書目録	H11.3	788
安芸町役場文書目録	H12.3	1,939
祇園町・船越町役場文書目録	H13.3	704
安佐町・可部町役場文書目録	H14.3	1,608
白木町役場文書目録	H15.3	617
高陽町役場文書目録	H16.3	263
砂谷・上水内・水内村外役場文書目録 ※	H21.3	1,688
計		41,347

※はデジタルアーカイブ・システム登録済み資料。

以下同じ。

(2) その他の歴史資料目録

《冊子目録》

(単位：件)

目 録 名	収録件数
重家豊資料目録	4,582
山木茂資料目録	2,393
任都栗司資料目録	195
広島市復興青年運動資料目録	234
受贈資料目録Ⅰ ※	1,230
絵はがき目録 ※	2,214
写真目録(広報課撮影分) ※	4,530
受贈資料目録Ⅱ ※	1,030
広島市域地形図原図目録 ※	2,719
計	19,127

《「公文書館紀要」掲載目録》

(単位：件)

掲載号	目 録 名	収録件数
5 号	都築資料目録	645
5 号	新藤兼人資料目録	92
15 号	横山雅昭氏寄贈資料目録	113
15 号	谷口盛行氏寄贈資料目録	22
24 号	永濱家文書仮目録	971
24 号	橋本秀夫氏旧蔵資料目録	92
31 号	渡邊彌蔵所蔵資料目録	650
	計	2,585

V 行政資料等の収集・管理・提供

1 本市行政資料

本市が作成した行政資料を集約し、保存・提供するため、行政資料登録制度に基づき登録を行い、デジタルアーカイブ・システムにより目録情報を公表している。また、登録した資料は閲覧室に配架し、市民の利用に供している。

- ・令和元年度登録件数 851 件
（うち閲覧室配架件数 388 件）
- ・令和元年度末閲覧室配架件数 14,451 件
- ・令和元年度末登録件数（累計） 30,663 件

2 図書等（他都市の行政資料等）

他都市・県・国等の行政資料、一般図書についても本市行政資料と同様に登録し、利用に供している。

- ・令和元年度登録件数 1,585 件
（うち閲覧室配架件数 36 件）
- ・令和元年度末閲覧室配架件数 5,944 件
- ・令和元年度末登録件数（累計） 61,225 件

VI 展示・イベント

1 令和元年度の展示会開催状況

館内のロビー等を利用して、時機を捉えたテーマの企画展や新たに収集した資料を紹介する新収資料展等、小規模な展示会を開催している。

- ・「近現代広島の都市化と地域社会
ー肥料をめぐる都市と近郊農村の交錯ー」
平成 31 年 3 月 22 日～令和元年 7 月 1 日
開催場所 公文書館
入場者数 1,268 人
- ・広島平和記念都市建設法 70 周年記念展示
「復興の礎として - 平和記念都市建設法と広島 -」
令和元年 8 月 5 日～10 月 4 日
開催場所 公文書館
入場者数 638 人
- ・所蔵資料を紹介する常設展示
令和元年 12 月 2 日～令和 2 年 2 月 25 日
開催場所 公文書館
入場者数 599 人
- ・「新収資料展」
令和 2 年 3 月 2 日～7 月 10 日
開催場所 公文書館
入場者数 937 人

2 令和元年度のイベント実施状況

令和元年度は平和記念都市建設法制定から 70 周年に当たることから、復興期の広島を撮影した映画「平和記念都市ひろしま」（昭和 24 年 秋元憲監督作品）と公文書館や平和記念資料館が所蔵する戦前・復興期の映像等の上映会を開催した。

- ・映像上映会『映像で振り返る広島の復興』
令和元年 8 月 10 日
開催場所 広島市映像文化ライブラリー
入場者数 102 人
- 令和元年 8 月 25 日
開催場所 平和記念資料館（地下メモリアルホール）
入場者数 49 人

Ⅶ 公文書館「紀要」の刊行

公文書館が所蔵している公文書等に係る調査・研究及びこれに関連した広島市史研究の成果を公表するため、昭和 53 年 3 月に創刊した。一時中断していたが平成 24 年度に再開し、令和元年度は第 32 号を刊行した。

第 32 号の内容（平成 31 年度発行）

- ・曾根幹子（広島市立大学名誉教授）
「戦没オリンピック」をめぐる調査と課題－広島県出身選手を事例に－
- ・石川遙（広島市公文書館歴史資料専門員）
昭和戦前期広島市の町と市民の様相－草津南町を例として
- ・伊藤公一（広島市公文書館歴史資料専門員）
〈展示会報告〉近現代広島の都市化と地域社会－肥料をめぐる都市と農村の交錯－
- ・檜垣榮次
〈資料紹介〉広島市公文書館所蔵「畑賀村年貢免状」（役場文書）
- ・渡辺琴代（広島市公文書館主幹）
〈資料紹介〉広島原爆戦災誌編さん資料

第 31 号の内容（平成 30 年度発行）

- ・松井輝昭
御供船の盛衰と「船」－広島と管絃祭との関わりについて－
- ・能登原由美
〈資料紹介〉渡邊彌蔵資料とその意義－明治から戦後に至る広島の洋楽普及の観点から－
- ・中川利國（被爆 70 年史編修研究会事務局長）
〈研究ノート〉－占領期における広島発信の試み～『広島平和都市建設構想案』と『原爆体験記』
- ・伊藤公一（広島市公文書館歴史資料専門員）
〈研究ノート〉－安芸郡矢野村における明治前期出生者の乳幼児・児童・青年期をめぐって－
- ・『広島市被爆 70 年史－あの日まで－そして、あの日から 1945 年 8 月 6 日－』の刊行をふりかえって

第 30 号の内容（平成 29 年度発行）

- ・石丸紀興、千葉桂司、矢野正和、山下和也
〈研究報告〉基町／相生通り（通称「原爆スラム」）
調査を回想する〈後編〉
- ・中川利國（被爆 70 年史編修研究会事務局長）
〈研究ノート〉占領期における広島発信の試み～

映画『平和記念都市ひろしま』

- ・濱保仁志（広島市公文書館歴史資料専門員）
〈所蔵資料紹介〉カープ関係寄贈資料
- ・〈展示会報告〉文書と写真でたどる旧広島市民球場
－旧広島市民球場開場 60 年記念展示－

第 29 号の内容（平成 28 年度発行）

- ・石丸紀興、千葉桂司、矢野正和、山下和也
〈研究報告〉基町／相生通り（通称「原爆スラム」）
調査を回想する〈前編〉
- ・中川利國（広島市公文書館長）
〈研究ノート〉占領期における A B C C 広島原爆傷害研究所の整備と広島の復興について
- ・柳下登志子（被爆 70 年史編修研究会事務局）
〈資料〉広島興行場施設略年表－戦前編－
- ・石川遙（広島市公文書館歴史資料専門員）
〈所蔵資料紹介〉沼田郡中調子村と高宮郡岩上村の山論関係資料

第 28 号の内容（平成 27 年度発行）

- ・能登原由美（「ヒロシマと音楽」委員会委員長）
機関紙にみる広島労音－発足から十年の歩み
- ・光平有希（総合研究大学院大学 博士後期課程）
広島流川教会における復興と音楽との歩み、及びその原点－谷本清・太田司朗を中心にして
- ・檜垣榮次
〈資料紹介〉広島市公文書館所蔵「船越村年貢免状」（竹内家文書）
- ・中川利國（広島市公文書館長）
〈研究ノート〉占領軍資料を中心とする広島市復興顧問と復興計画への一考察
- ・西本雅実（中国新聞編集委員）
「平和記念都市ひろしま」－知られざる記録映画

VIII 市史の編さん

公文書館では、昭和 61 年 3 月の市史編さん室廃止に伴い、その業務を引き継ぎ、これまでに「図説広島市史」「戸坂村史」「中山村史」「井口村史」「図説戦後広島市史」「図説戦後広島市史」(再版)などを刊行した。

1 市史編さん事業の概要

(1) 公文書館発足前の市史編さん

「広島市史」(全 6 巻)……大正 11～13 年刊行
「概観広島市史」……………昭和 30 年刊行
「新修広島市史」(全 7 巻)…昭和 33～37 年刊行

(2) 「広島新史」

- ・ 事業年度 昭和 50～60 年度
- ・ 総事業費 233,937 千円
- ・ 発行部数 全 13 巻 各 3,000 部(有償・無償各 1,500 部)
- ・ 内 容 昭和 50 年の被爆 30 周年記念事業として昭和 20 年 8 月以降の広島市の戦後史として、復興と平和記念都市建設という独自の性格に立つ本市の歩みを、歴史学、文化人類学、法社会学、経済学、行政学、財政学、地理学、社会学など多くの分野から概説。

(3) 「図説広島市史」

- ・ 事業年度 昭和 63 年度
- ・ 総事業費 40,493 千円
- ・ 発行部数 5,500 部(有償 2,360 部 無償 3,140 部)
- ・ 内 容 平成元年の市制施行 100 周年・築城 400 年の記念事業として「広島市の自然」「原始から広島築城まで」「城下町広島」「近代都市広島」「平和都市広島」をテーマに写真、絵、地図等の図像資料により広島の歴史を分かりやすく紹介し、さらに「広島のおゆみ」「広島城の 400 年」をテーマとして広島の歴史を概説。

(4) 「戸坂村史」「中山村史」「井口村史」

- ・ 事業年度 昭和 61～平成 3 年度
- ・ 総事業費 49,663 千円
- ・ 発行部数 各 800 部(有償 300 部 無償 500 部)
- ・ 内 容 戦後合併した町村のうち、昭和 61 年時点で

町村史が編さんされていなかった戸坂村、中山村、井口村について各種史資料を基礎に各村の原始以来、合併までの歴史を中心に、その後の歩みを加え編さん。

(5) 「図説戦後広島市史 街と暮らしの 50 年」

- ・ 事業年度 平成 4～7 年度
- ・ 総事業費 105,427 千円(人件費を除く)
- ・ 発行部数 6,500 部(有償 3,500 部 無償 3,000 部)
- ・ 内 容 被爆 50 周年を記念し、被爆の実相に始まり、復興期、発展期を経て政令指定都市期に入った広島市勢及び市民生活の戦後 50 年の歩みを市民向けにわかりやすくとどる本編に、別冊として広島の音を 50 種類収録した CD を作成。

(6) 「図説戦後広島市史」再版

- ・ 事業年度 平成 12～13 年度
- ・ 総事業費 21,272 千円(人件費を除く)
- ・ 発行部数 書籍 5,000 部(有償 4,600 部 無償 400 部)
CD ブックレット 5,350 部(有償 4,600 部 無償 750 部)
- ・ 内 容 2000 年—2001 年記念事業として「図説戦後広島市史 街と暮らしの 50 年」を再版。
別冊の CD を、ヒロシマの被爆体験や核兵器廃絶、世界恒久平和実現への誓いなどをテーマとした曲を収録したものに変更。

(7) 「広島市被爆 70 年史 あの日まで そして、あの日から 1945 年 8 月 6 日」

- ・ 事業年度 平成 26～30 年度
- ・ 総事業費 98,099 千円(人件費を除く)
- ・ 発行部数 5,000 部(有償 3,800 部 無償 1,200 部)
- ・ 内 容 被爆 70 周年記念事業として、明治 22(1889)年の広島市誕生から原爆被災を経て復興し、現代に至るまでの広島市の歴史を「都市と市民生活」を基本テーマに、広島市の歴史と被爆の実相をわかりやすく解説。被爆者等市民の証言と復興期等の映像を収録した映像編(DVD)を附属。

(8) 合併町村史

《本市で編さんしたもの》

区 分	合併年月	刊行年月
戸坂村史	S30.4	H3.2
中山村史	S31.4	H3.2
井口村史	S31.11	H4.1
沼田町史	S46.4	S55.4
安佐町史	S46.5	S52.3
可部町史	S47.4	S51.9
佐東町史	S48.3	S55.3
高陽町史	S48.3	S54.3
瀬野川町史	S48.3	S55.3
白木町史	S48.10	S55.3
新修矢野町誌	S50.3	S55.3
船越町史	S50.3	S56.3

《合併町村で刊行されたもの》

区 分	合併年月	刊行年月
祇園町誌	S47.8	S45.12
安古市町誌	S48.3	S45.12
熊野跡村誌	S49.11	S49.10
安芸町誌	S49.11	S48.3～S50.3
五日市町誌	S60.3	S49.3～S58.5
湯来町誌	H17.4	S61.9～H9.7

IX 文書の引継ぎ・保存・廃棄

事案の処理が完結した後各課で1年間保管された保存年限3年以上の文書は、公文書館が引継ぎ、整理・保存・廃棄を行っている。

1 文書の引継ぎ

令和元年度は次のとおり文書の引継ぎを行った。

- (1) 引継期間：5月31日～3月31日
- (2) 引継課数：30課
- (3) 引継数量：置換ケース換算で775箱

《令和元年度の保存文書引継件数》

区 分	文書箱数（箱）
永年保存文書	102
10年保存文書	61
5年保存文書	608
3年保存文書	4
合 計	775

2 文書の整理・保存

引継ぎを受けた文書（以下「保存文書」という。）のうち永年・10年保存文書については、文書引継書及び目次を整理し、取出しに支障のないよう保存している。

令和元年度は、永年保存文書1,128件、10年保存文書1,073件について整理を行った。

《永年・10年保存文書の総件数》

（令和2年3月31日現在）

区 分	文書件数（件）
永年保存文書	323,952
10年保存文書	12,490
合 計	336,442

3 歴史資料文書の選別・文書の廃棄

保存文書のうち保存年限を経過した文書については、歴史的・文化的資料として保存価値等を有すると認められるものを選別し、関係課と協議の上、歴史資料文書として引き継ぎ、保存している（令和元年度は引継実績なし）。

保存を要しない文書については、廃棄の手続きを行っている。

- ・令和元年度の保存文書廃棄状況 728箱
（3年・5年・10年の保存年限経過文書）

4 マイクロフィルムによる保存

保存文書等は、原本により保存することを原則としているが、繰返し検索・閲覧に供するため原本を損傷する恐れのあるもの、保存スペースが限られているもの等については、マイクロフィルムにより保存している。

・令和元年度引継件数 3 本

《マイクロフィルムによる保存状況》

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

区 分	数量
条例規則原議書、予算見積書、職員業務分担表、出勤簿等	3,364 本
設備、営繕関係工事図面	574,926 コマ
記者提供資料	152 本

※ 公文書館が保存又は所蔵するマイクロフィルムのうち、TAC ベースのフィルムにビネガーシンドローム（酸化劣化）が発生したため、平成 23 年度から、TAC ベースのフィルムに複写する作業を進めている。令和元年度は 500 本の複製を作成し、劣化した TAC ベースのフィルムとの置換を行った。

X 情報公開制度・個人情報保護制度

1 情報公開制度

本市では、市民の市政参加を助長し、市政に対する市民の理解と信頼を深め、もって地方自治の本旨に即した市政を推進することを目的として、昭和 61 年 6 月 1 日から公文書公開制度を運用してきた。平成 13 年 4 月 1 日から公文書公開制度を情報公開制度に改め、対象公文書の拡大などを行い、さらに平成 19 年 9 月 28 日からは、何人も開示請求をすることができることとした。令和 2 年度には、ホームページ等を活用した情報提供サービスを開始し、一層の情報公開を進める予定である。

公文書館は制度運用に係る事務の指導・助言及び総合窓口として情報公開関係事務を所掌している。

《参考：令和 2 年度開始予定の情報提供サービス》

- (1) ホームページからダウンロード可能な情報
 - ・市内の食品営業許可・認定施設一覧
 - ・市内の新規開設した美容所・理容所の施設情報
- (2) 依頼に応じて電子メールで提供する情報
 - ・建設リサイクル法(解体)に係る届出書の写し

《令和元年度運用状況等》

(単位：件)

請 求		2, 6 8 7
処	開 示	2, 3 9 1
	部 分 開 示	1, 0 1 0
	不 開 示	8
理	取 下 げ	8 4
	文書不存在等	1 6 7

※ 1 件の請求について複数の決定を行ったものを含む。

2 個人情報保護制度

本市が保有する個人情報の適正な取扱いを定め、開示等を請求する権利を保障することにより個人の権利利益を保護するとともに、公正で信頼される市政の運営に資することを目的として平成 8 年 10 月に個人情報保護条例を施行し、個人情報保護制度を運用してきた。

平成 16 年 4 月からは、条例を全部改正し、請求の対象となる個人情報の拡大や利用停止請求権の創設など、より制度の充実を図っている。

公文書館は、制度運用に係る事務の指導・助言及び総合窓口として個人情報保護に関する事務を所掌している。

《令和元年度運用状況等》

(単位：件)

請 求		1 3 4
処	開 示	6 0
	部 分 開 示	5 3
	不 開 示	0
理	取 下 げ	3
	文書不存在等	3 8
	利用停止等	0

※ 1 件の請求について複数の決定を行ったものを含む。

3 情報公開・個人情報保護審査会

広島市情報公開条例及び広島市個人情報保護条例に基づき、実施機関の諮問に応じて、開示決定等に係る審査請求等について審議するため、広島市情報公開・個人情報保護審査会を設けている。審査会は委員 10 人をもって組織し、任期は 2 年で現委員は令和 4 年 3 月 31 日までの任期となっている。

《情報公開・個人情報保護審査会委員名簿》

(令和 2 年 4 月 1 日現在 50 音順)

氏 名	役 職 名
片 木 晴彦	広島大学大学院人間社会科学研究科教授（専攻 商法）
ジ'ジョージ・R・ハラ ダ'	広島経済大学経済学部教授（専攻 憲法）
田 邊 誠	広島大学名誉教授
土 井 敬子	広島消費者協会理事
濱 野 滝衣	弁護士
原 田 典佳	テレビ新広島総務局局長職番組審議会事務局長
日 山 恵美	広島大学大学院人間社会科学研究科教授（専攻 刑法）
福 永 実	広島大学大学院人間社会科学研究科教授（専攻 行政法）
古 川 竜彦	中国新聞社論説委員室副主幹
松 田 健之介	弁護士

《不服申立ての状況》

(1) 情報公開関係 (単位：件)

区分	不服申立件数		処 理 件 数					
年度	前年度 繰越分	当該 年度分	決 定				取下げ	次年度 繰越分
			処分妥当	公開すべき (一部開示 を含む)	諮問の 対象外	(計)		
平成 29 年度	115	43	26	12	0	38	0	120
平成 30 年度	120	47	25	5	0	30	0	137
令和元年度	137	29	78	11	2	91	0	75

(2) 個人情報関係 (単位：件)

区分	不服申立件数		処 理 件 数					
年度	前年度 繰越分	当該 年度分	決 定				取下げ	次年度 繰越分
			処分妥当	公開すべ き(一部開 示を含む)	諮問の 対象外	(計)		
平成 29 年度	17	6	5	0	0	5	0	18
平成 30 年度	18	6	14	1	0	15	0	9
令和元年度	9	6	8	0	0	8	2	5

XI 令和元年度の主なできごと

- | | | | | |
|----|-----|----|----|---|
| 平成 | 31. | 4. | 1 | 広島平和記念資料館において『広島市被爆 70 年史』の販売を開始 |
| | | | 5 | 新規採用職員研修「広島 of 歴史と戦後復興」を講義（5 日、8 日） |
| 令和 | 元. | 5. | 28 | 広島県市町文書等保存活用連絡協議会（広文協）総会・役員会 |
| | | 6. | 6 | 『全国公文書館長会議（東京：国立公文書館、～7 日） |
| | | 14 | | くん蒸を実施（～9 月 30 日） |
| | | 7. | 3 | 『広島市被爆 70 年史』の索引の公開を開始 |
| | | 11 | | ひろしま国際協力事業研修生受入れ
閲覧室のマイクロフィルムビューワのリース契約を更新 |
| | | 8. | 5 | 広島平和記念都市建設法 70 周年記念展示「復興の礎として - 平和記念都市建設法と広島 -」を開催（～10 月 4 日） |
| | | 10 | | 映像上映会「映像で振り返る広島の復興」を開催（10 日、25 日） |
| | | 26 | | 国立公文書館アーカイブズ研修 I（1 名参加、～30 日） |
| | 10. | 4 | | 令和 2 年度広島県市町文書等保存活用連絡協議会（広文協）第 1 回研修会（広島県立文書館） |
| | | 31 | | 中国・四国地区文書館等職員連絡会議（香川県高松市、～11 月 1 日） |
| | 11. | 14 | | 第 44 回全国歴史資料保存利用期間連絡協議会全国（安曇野）大会及び研修会（長野県安曇野市、～15 日） |
| | | 21 | | 令和元年度行政文書・古文書保存管理講習会（広島県立文書館） |
| | | 22 | | 展示会の解説パンフレットを市ホームページに掲載 |
| | | 29 | | マイクロフィルム複製作成（29 日～2 月 28 日） |
| | 12. | 2 | | 所蔵資料を紹介する常設展を開催（～2 月 25 日） |
| | | 1. | 15 | 視察受入れ（浜松市議会） |
| | 2. | 2. | 1 | 「広島市公文書館管理運営要綱」を制定
「広島市公文書館条例に基づく利用申請に係る処分に係る審査基準」を制定 |
| | | | 5 | 令和元年度広島県市町文書等保存活用連絡協議会（広文協）第 2 回研修会（江田島市） |
| | | 3. | 2 | 「新収資料展」の開催（～7 月 10 日） |
| | | | 9 | 第 17 回公文書館運営委員会開催 |
| | | 12 | | 「広島市公文書館歴史資料文書評価選別方針」を制定 |
| | | 30 | | 「広島市公文書館紀要」第 32 号を発行 |

分類登録番号	広 D 0 - 2 0 2 0 - 3 0 1
名 称	広島市公文書館事業概要 平成 3 1 年度版
編修・発行	広島市公文書館 〒730-0051 広島市中区大手町四丁目 1 番 1 号 大手町平和ビル TEL (082)243-2583 FAX (082)542-8831
発行年月日	令和 2 年 (2 0 2 0 年) 1 0 月 2 6 日

